

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11038	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論） (Nursing Care of Children & FamiliesⅡ)				
担当教員名	○富岡晶子/篠木絵理/高山裕子/岡田弘美/小林朋佳				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要：</p> <p>本科目では、こどもの発達段階と健康レベルに応じた援助をするために必要な知識と技術について修得する。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康障害がこどもの成長・発達やこどもと家族の生活に及ぼす影響について説明できる。 2. 小児期に多い疾患の病態および治療を理解し、健康障害のあるこどもの健康に関わる問題についてアセスメントできる。 3. こどもと家族への援助方法を具体的に説明できる。 					
準備学習等					
<p>「体の仕組みと働き」、「病態生理学」、「生涯発達ケア論」、「小児看護援助論Ⅰ」等の学習内容をもとに授業を進めるので、各回授業の関連部分について復習してください。</p> <p>初回講義において授業の進め方と課題を提示します。各講義の予習として、講義の該当部分のテキストを熟読して授業に臨んでください。（予習・復習 15 時間）</p>					
成績評価の方法	<p>評価の基準は、次のとおりとする。</p> <p>【筆記試験】80%</p> <p>最終試験及び中間での達成度評価（試験）により評価する。最終試験は達成度評価の結果に応じた 0-10 点加点分を含み 100 点満点として換算する。</p> <p>【課題レポート】20%</p> <p>授業内ワークシート等及び習熟度クラス別「こどもの標準看護計画」課題の提出状況及び内容により評価する。</p>				
テキスト	<p>「系統看護学講座 専門 22 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児臨床看護総論」（奈良間美保他著：医学書院）</p> <p>「系統看護学講座 専門 23 小児看護学Ⅱ 小児臨床看護各論」（奈良間美保他著：医学書院）</p>				
参考図書	講義内で提示する。				

備 考	<p>課題内容の詳細は第1回授業のガイダンスで説明するので必ず出席のこと。 本科目の単位取得は小児看護学実習の履修前提条件である。 各教員のオフィスアワーについては、履修案内「オフィスアワー」の項を参照すること。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認すること。 各講義の課題、レポートは内容確認後に返却するので、復習や試験準備に活用すること。</p>
授 業 計 画	
第1回	ガイダンス・健康障害を持つ子どもとその家族の看護【講義】(富岡)
第2回	健康障害を持つ子どもの発達の支援【講義】(副島・富岡)
第3回	こどもの病態と初期アセスメント1<こどもに多くみられる疾患と病態生理・診断基準・治療1>【講義】(小林)
第4回	症状を示すこどもの看護1<発熱を伴うこどもの看護>【講義】(岡田)
第5回	症状を示すこどもの看護2<脱水を伴うこどもの看護>【講義】(岡田)
第6回	こどもの病態と初期アセスメント2<こどもに多くみられる疾患と病態生理・診断基準・治療2>【講義】(小林)
第7回	症状を示すこどもの看護3<呼吸困難を伴うこどもの看護>【講義】(岡田)
第8回	経過および状況別にみたこどもの看護1<新生児・低出生体重児の看護>【講義】(篠木)
第9回	経過および状況別にみたこどもの看護2<急性期にある子どもとその家族の看護>【講義】(高山)
第10回	経過および状況別にみたこどもの看護3<慢性期にある子どもとその家族の看護>【講義】(富岡)
第11回	中間まとめ【達成度評価】(富岡、篠木、高山、岡田)
第12回	こどもの標準看護計画1<事例学習と知識の整理>【講義・演習】(富岡、篠木、高山、岡田)
第13回	こどもの標準看護計画2<事例学習によるアセスメント>【講義・演習】(富岡、篠木、高山、岡田)
第14回	こどもの標準看護計画3<事例学習による看護計画立案>【講義・演習】(富岡、篠木、高山、岡田)
第15回	こどもの標準看護計画4<まとめと評価>【講義・演習】(富岡、篠木、高山、岡田)